

大飯発電所3号機、4号機の運転状況について

関西電力株式会社

平成24年9月6日

大飯発電所3号機、4号機再稼動に関する主な経緯

(大飯3号機第15回定期検査:平成23年3月18日～ 大飯4号機第14回定期検査:平成23年7月22日～)

- 6月16日 4大臣会合が開催され、大飯3, 4号機の再稼動が決定
- 6月16日 原子力安全・保安院から特別な監視体制への参画要請、当社は体制整備後3号機作業開始
 - ・当社は原子力事業本部長をトップとした体制、また事業本部、メーカーによる発電所サポート体制を強化
 - ・OFC内に経済産業副大臣を責任者とする常時監視・緊急対応体制が編成され、当社、メーカーも参加
- 6月21日 大飯4号機 作業開始
- 7月 1日 大飯3号機 原子炉起動
 - (7月2日臨界、7月5日並列、7月9日定格熱出力一定運転到達)
- 7月18日 大飯4号機 原子炉起動
 - (7月19日臨界、7月21日並列、7月25日定格熱出力一定運転到達)
- 7月27日 更なる安全性・信頼性向上のための対策の実施状況を原子力安全・保安院へ報告
 - (8月24日 確認結果公表)
- 8月 3日 大飯3号機 総合負荷性能検査、定期検査終了
- 8月16日 大飯4号機 総合負荷性能検査、定期検査終了

関西電力大飯発電所における「特別な監視体制」の状況について

○監視の実施体制

6月16日に4大臣会合において、大飯3, 4号機の運転再開を決定した以降、当日より特別な監視体制により監視を実施。

チームは、発電所、オフサイトセンター、原子力安全・保安院ERC、県において24時間体制を構築。

各拠点をテレビ会議システムで常時接続し、必要に応じて情報共有するとともに、2回/日の定例報告（現在は1回/日）を実施。

○常時監視・緊急対応チームメンバー

- ①牧野経済産業副大臣／中根経済産業大臣政務官
- ②原子力安全・保安院（原子力安全基盤機構含む）
- ③関西電力
- ④プラントメーカー（三菱重工・三菱電機）
- ⑤福井県

副大臣が常駐している間は、大飯オフサイトセンターにおいて、合計約50名～約80名が対応。

○活動状況

副大臣（大臣政務官を含め交代可）は、原子炉起動から定格熱出力一定運転到達までの安全上重要な局面において、現地に常駐。

副大臣から、チームに対し、①独りで判断しない、②些細な事象でも情報を速やかに全員で共有、③プレスへの丁寧な対応、が重要である旨、指示。

○監視活動に従事した人数（延べ人数：人日）

【6/16～8/30】

・原子力安全・保安院（※）	：	806名
・原子力安全基盤機構（※）	：	245名
・福井県	：	128名
・三菱重工/三菱電機	：	501名
・関西電力	：	1331名
＜合計＞	：	3011名

（約40名/日）

※発電所で検査・監視業務を行う検査官等を含む



7月25日朝のご挨拶



定例テレビ会議の様様



定例プレス会見の様様

大飯発電所3号機、4号機の再稼動に向けた体制

当社の再稼動に向けた体制

原子力事業本部

責任者: 原子力事業本部長(本部長代理)

- 発電所サポート体制の強化
(トラブル等緊急時に派遣できる体制)
- 国による特別な監視体制への対応
- 国、福井県、関係自治体等の連絡体制強化



安全上重要な局面においては、オフサイトセンターで原子力事業本部長をヘッドに対応

国による特別な監視体制 (オフサイトセンター)

- ・経済産業副大臣
- ・経済産業省 (原子力安全・保安院)
- ・福井県
- ・プラントメーカー
- ・学識経験者
- ・事業者



大飯発電所

- 他発電所等からの応援による体制強化
- メーカーによる支援体制の強化
- 協力会社の支援体制の強化



メーカー

- 大飯発電所支援
- オフサイトセンター対応
- 緊急時の発電所のサポート対応 (神戸に「大飯3、4号機再稼動支援センター」を整備)

原子力事業本部長

副事業本部長

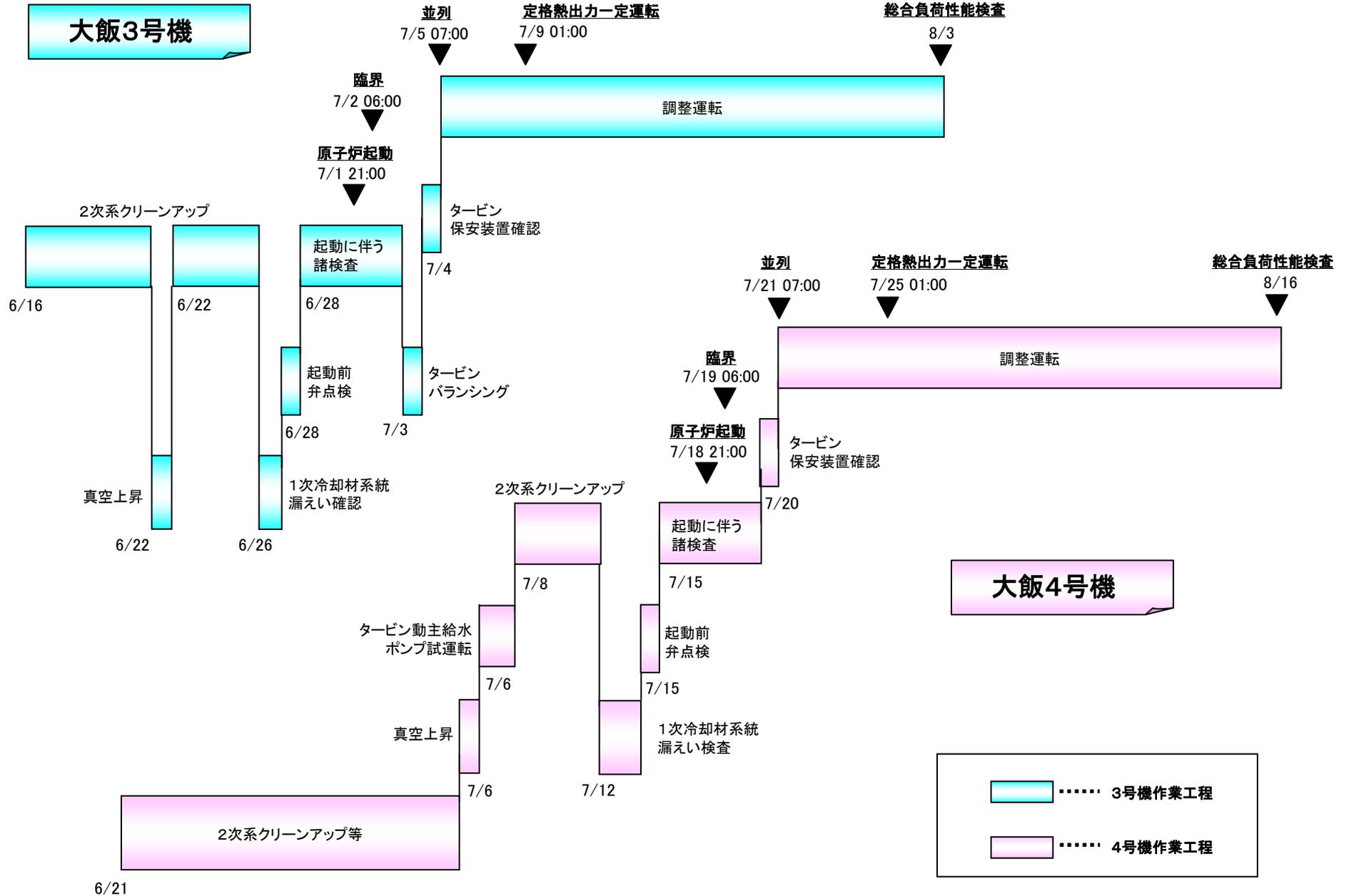
情報班

(発電所の状況把握、分析)

広報班

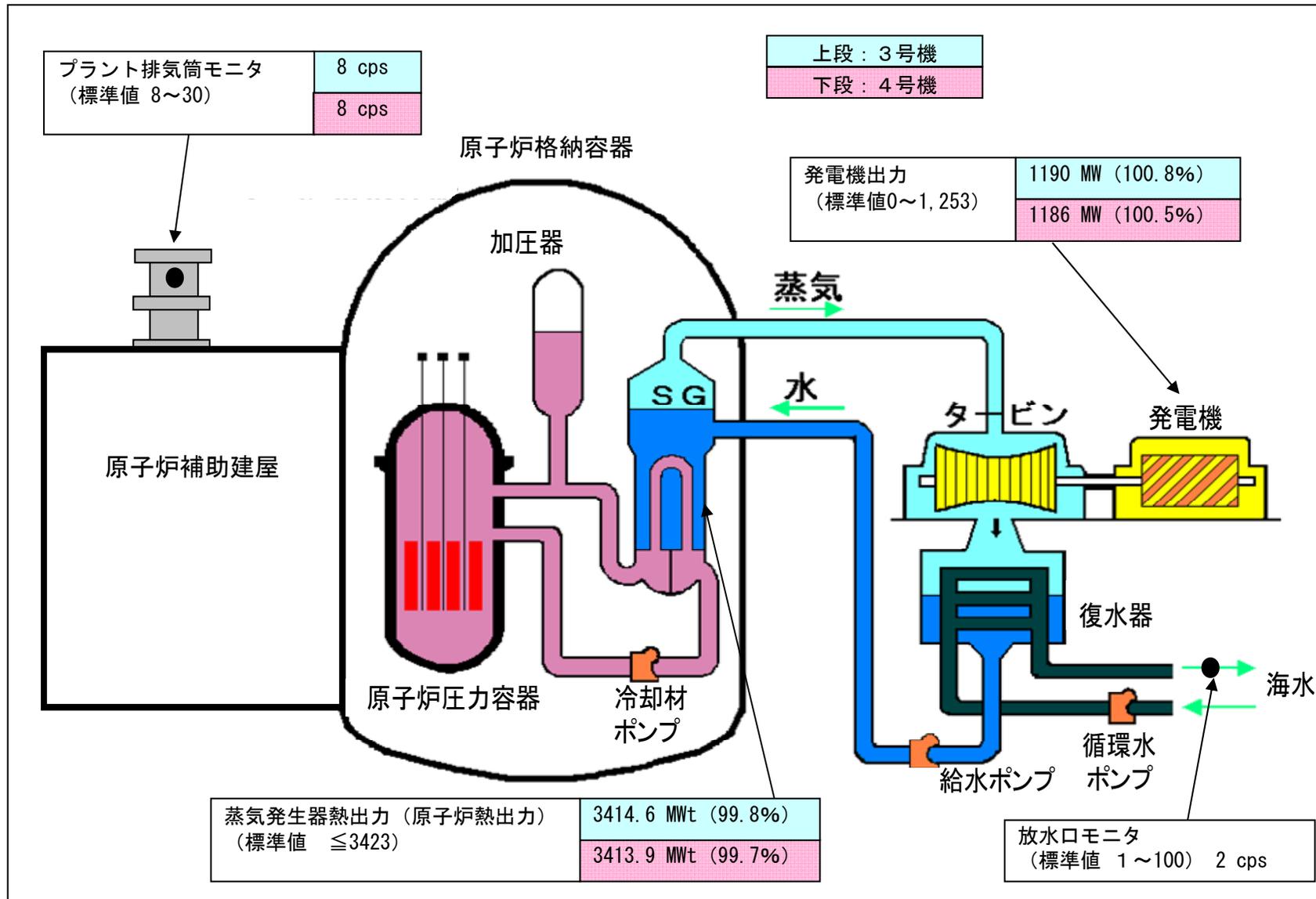
(プレス対応)

大飯発電所3号機、4号機の再稼働工程実績



大飯発電所3号機、4号機の運転状況

(平成24年9月6日10時時点)



「特別な監視体制」の活動中に発生した主な警報や故障

- これまで原子力安全に関連のある故障、トラブルは発生していない。
- 9月6日現在までに30件の警報等を確認し、公表したが、原子力安全上は問題がないことを確認した。

◎発生した主な警報や故障の概要

○出力変動

- ・クラゲ来襲による電気出力の低下
- ・送電線への落雷による瞬時の出力変動

○警報発信

- ・3号機 発電機冷却水タンクで警報が発生 ⇒ 低水位運用におけるタンク液面の変動
- ・3・4号機 直流電源での異常を示す警報が発生 ⇒ 外気温低下による盤内での結露
- ・4号機 海水系除塵設備に係る警報が発生 ⇒ クラゲ回収装置の搬出モータの過負荷
- ・4号機 タービン動主給水ポンプ試運転中に警報が発生 ⇒ 健全性確認のためのカード切替によるもの
- ・4号機 加圧器逃がしタンクに係る警報が発生 ⇒ 微小な粉塵の影響で圧力調整弁の動きが緩慢になったもの
- ・4号機 非常用ディーゼル発電機（DG）に係る警報が発生 ⇒ ターニングギアの一時的な噛み込み不良
- ・4号機 一次冷却材の温度を監視する警報が発生 ⇒ 温度の揺らぎにより発生
- ・4号機 A-DG室サンプポンプの過負荷に係る警報が発生 ⇒ 排水ポンプのシール部の機能低下
- ・4号機 A-DGの燃料をタンクに補給中に液位に係る警報が発生 ⇒ 低水位での液面の変動
- ・3号機 一次系補機を制御する制御盤の不具合を示す警報が発生

○その他

- ・海水淡水化装置の海水取り込み配管継ぎ手部から海水の漏えいを確認 ⇒ 配管にスラッジ等が堆積し腐食
- ・海水淡水化装置の起動排水槽のマンホールから処理後の海水が溢水 ⇒ 排水ポンプの停止遅れ
- ・4号機 電動主給水ポンプの定例試験時にミニマムフロー弁が閉止 ⇒ 弁駆動用の連結棒の外れ